



2-1 事前②

よかった点

- ・事前①の反省から、比較する手紙を1種類にすることでかえるくんの手紙のよさにほとんどの児童が気付くことができた。

改善点

- ・児童のノートに書かせるのは、かえるくんがとても幸せな気持ちになったことだけにする。



2-2 (本時)

よかった点

- かえるくんの書いたお手紙のよさに気付くことができた児童がいた。

改善点

- ・場面想起では、前回の場面よりも第1場面のがまくんとかえるくんの心情をおさえ直し、想起する時間を短くする。
- ・お手紙のよさに気付ける発問は、書いてある言葉に注目させる。
- ・お手紙のよさに気付く時間の確保が充分にできるように(児童の書いたことや言ったことに対する追発問をするなど)がまくんとかえるくんの心情を考える活動の見直しが必要である。



2-3 事後

よかった点

- ・ふたりの心情を一度に問うことで、児童が自分の考えやすい方から考えながら、その考えを深めていくことができた。また、板書もふたりの心情への気づきにつながった。

改善点

- ・学習を経て音読に変化をもたらす時間やふたりの心情を実感させる時間が短くなってしまった。



2-4 事前①

よかった点

- ・がまくんの心情について深く考え、かえるくんの書いたお手紙のよさに気付くことができた。自分の思いを意欲的に表す児童が増えた。

改善点

- ・一番読み取らせたかったかえるくんの心情を読み取る時間が短くなってしまった。

学年のまとめ

- ・児童の学習感想をもとに、単元を貫く問いや毎時間の学習課題をつかったことで、児童が意欲的に学習に取り組むことができた。
- ・「ことばのたからばこ」を活用したことで、自分の思いを言葉にしやすくなったり、自分の思いに合う言葉を探したりする児童が増え、言葉に対する興味が強くなった。
- ・単元全体を通して、ノートに書く文章量がかなり増えた。物語の世界を楽しむことができると、自分の思いをもち、「伝えたい、書きたい。」という思いが強くなり、発表したりノートに書く文章量が増えたりするということを実感する学習となった。